

まんがで
わかる!

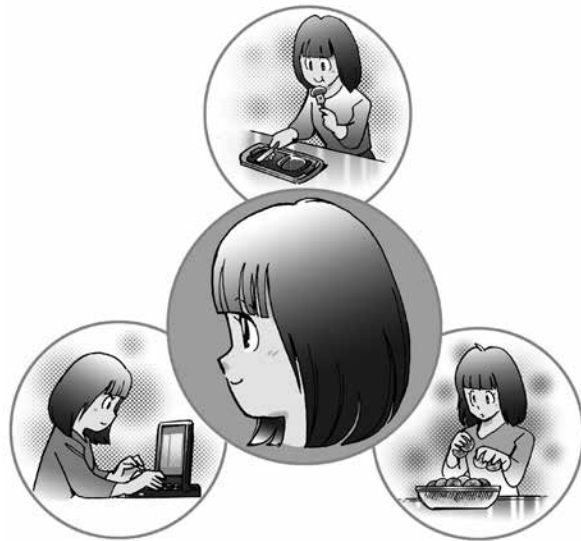
メディカルスタッフの仕事⑥



作業で人を元気にする

作業療法士

人の生きる喜びは、生活のなかにある



監修 チーム医療推進協議会・一般社団法人 日本作業療法士協会

マンガ 田川 滋

もくじ

まんが 4 ~ 31

まんが「作業療法士」

18 カンファレンスとは？

コラム 32 ~ 33

作業療法士 活躍の場所

34 ~ 35

作業療法士ってどんな仕事

36

作業療法士になるには？

中学校・高校時代に学ぶとよいこと

37

今後、活躍の場所が広がっていく

他の医療職との連携が重要になっている

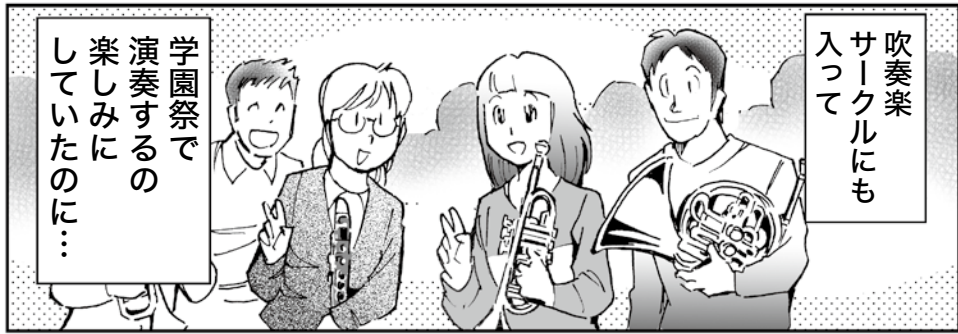
38

「チーム医療」って何？

チーム医療推進協議会とは？

39

チーム医療推進協議会が目指していること



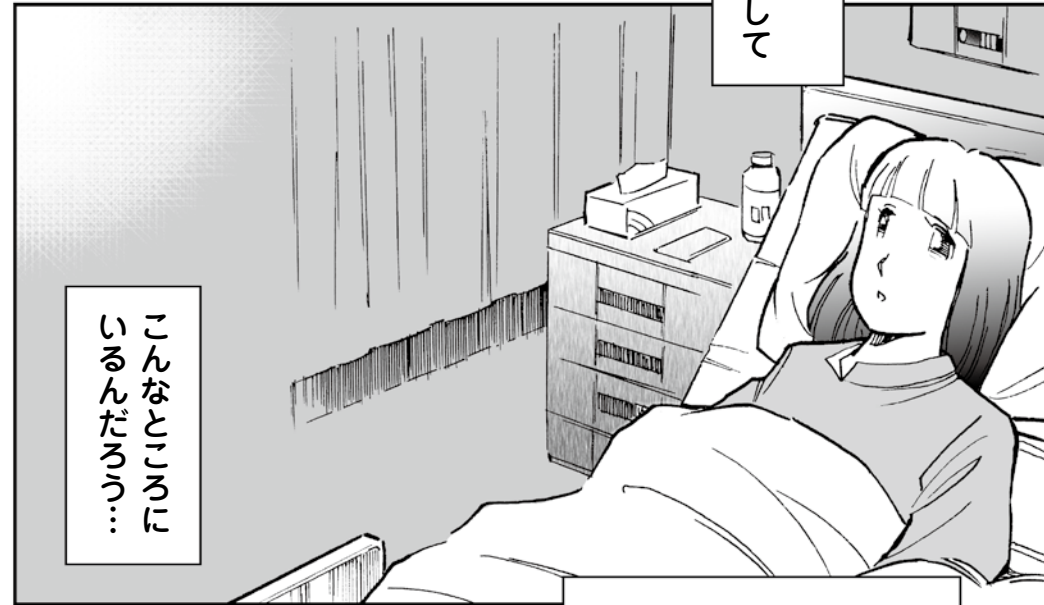
吹奏楽サークルにも入って

学園祭で演奏するの楽しみにしていたのに...



もうすぐ春の新学期なのに

私 どうして



こんなところにいるんだろう...

新井 美香 (19歳 大学生)



左手が

そしたら

思うように動かせなくなってる...



最初は

首がなんだか痛いなど思ってたら...



めまいも起きて...



大学生活が始まって

友だちもできて...



4月から大学に復学できるようにリハビリテーションを始めましょう

そのために歩く訓練と日常の実生活に必要な動作の訓練をします！



歩行訓練は理学療法士の山口さん

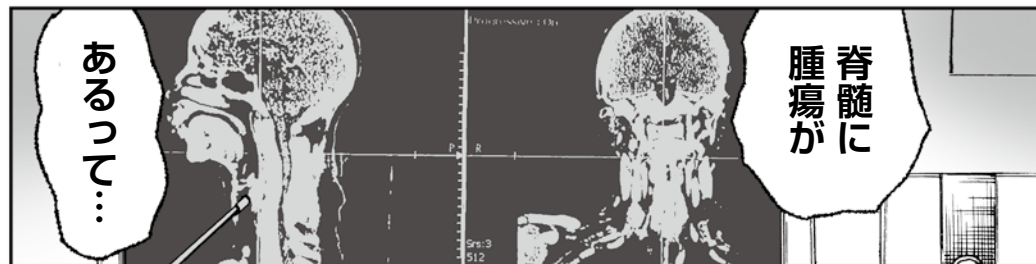
日常の実生活に必要な動作の訓練は…

作業療法士の小川さんが担当します



病院に行つて

最初に診てもらったのが去年の9月…



脊髄に腫瘍が

あるって…



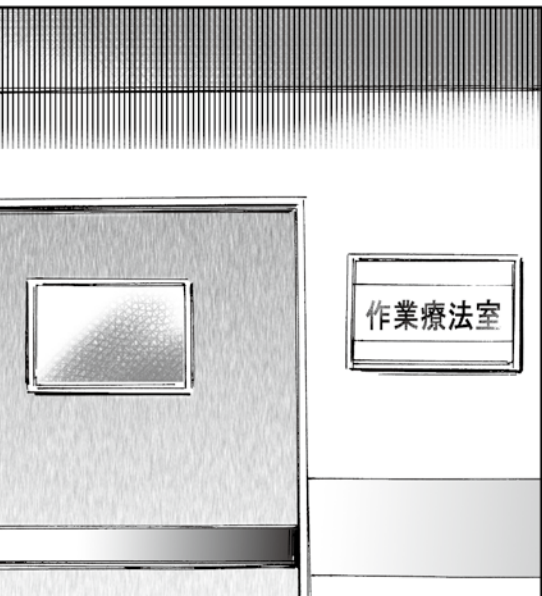
12月に手術をして…

でも…

左手と左足に麻痺がまだ残って…

食事もしにくいし着替えもしにくいし…

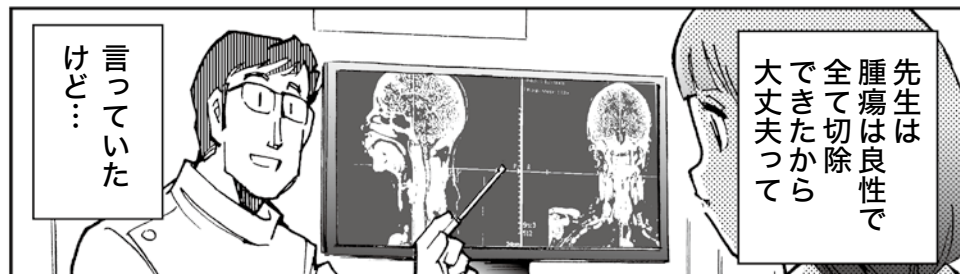
私これからどうなっちゃうんだらう…



理学と…えーと…

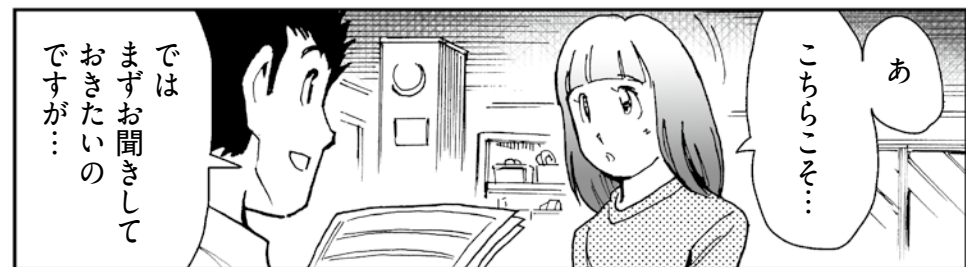
作業療法士？

何する人たち…？



先生は腫瘍は良性で全て切除できたから大丈夫って

言っていたけど…



作業療法士

活躍の場所

職業関連（就労支援）

支援の対象は、病気や障害をもちながらも仕事に就きたい人です。その人の状況に合わせた働き方で就労の現場に適応し、やりがいを感じながら継続して働くことができるように支援します。



仕事に必要な運転ができるように支援する

協働する相手

- 企業の人事担当者
- 職場適応援助者（ジョブコーチとも呼ばれる。障害者が職場に適応できるように職場の内外での支援をする）
- 就労支援施設担当者など

福祉用具の適合・住宅改修関連

その方の能力を補う福祉用具の適合や住み慣れた住宅の改修を通して、その方の生活環境に対して作業療法士の視点を加え、その方の生活の幅が広がるように支援します。



電動義手を使う人にとってなじむように調整する

協働する相手

- 建築士 ●義肢装具士など

医療

「リハビリテーションチーム」の一員として、患者さんの回復状態に応じて、生活の中で必要な動作やその人にとって生きがいとなる行為（生活行為）を獲得できるように促しながら、暮らしやすさを取り戻したり、新たに作り出したりするための支援をします。



看護師などのメディカルスタッフと協力しながら作業療法を行う

協働する相手

- 医師 ●看護師 ●理学療法士
- 言語聴覚士など

保健・福祉・介護保険

地域で暮らすさまざまな人たち（子ども・高齢者・障害者）の新たな疾病予防、健康増進の推進や地域生活の向上を通じて、作業療法を必要とする人が、その人なりに日々の豊かな暮らしを送れるように支援します。



地域交流の場で当事者や家族の話を聞く

協働する相手

- 保健師 ●ソーシャルワーカー
- 介護支援専門員（ケアマネジャー）
- 行政 ●介護福祉士など

教育

生活や学習のしにくさを抱えている子どもの生きる力を応援します。また、子どもたちがご家族や保護者とともに、地域でいきいきと自立した生活を継続して送れるように支援します。



遊びを通してさまざまな動作をすることが作業療法になる

協働する相手

- 子どもを支援する各施設（学校・保育所・幼稚園など）の教諭・保育士・介護士・栄養士・相談員
- 行政 ●保健師など

作業療法士ってどんな仕事？

先輩に話を聞きました

作業療法を必要とする人とともに

人は、心も体も一体になっています。作業療法士は、心も体も一緒に支援する職業です。認知症、精神疾患などはもちろんですが、身体障害の方、一見健康そうに見える方もさまざまな事情によってストレスを感じ、作業療法の対象となる方がいらっしやいます。その方のもっている力を最大限に生かしながら、生活するにはどうすればよいか、対象者と家族とともに考え、生活を構築していく。作業療法士は、作業療法を必要とする人とともに歩いていく職業です。



香山 明美
みやぎ心のケアセンター



郭 義道
医療法人社団 静山会
清川病院

作業療法を通じて未来を創る

病気になると思いがつらい経験をするとします。私が作業療法をしている方々は今まで当たり前でできていた生活が、急にできなくなってしまった方々がほとんどです。そんなときは本人も気付かないうちに、身体だけではなく心も弱っていることが多いです。作業療法は身体だけではなく、そんな心も一緒にリハビリテーションをすることで、その方や家族の方も含めて笑顔を創り、そして未来を創っていきける仕事です。作業療法を介して心と心を通じるときに、とてもやりがいを感じます。

ひとは作業をすることで元気になれる

私が作業療法をする方は、重度の障害があるお子さんが多く、その子が「できること」を作業療法士の視点から探し、リハビリテーションをするのが主な活動でした。親御さんが気付いていない、その子の「できること」を「お子さんはこういうことが出来ますよ。こういうやり方な



遠藤 千冬
一般社団法人
日本作業療法士協会

作業を通して能力を維持・改善する

食べる、着替える、入浴するなど、日常生活のすべての生活行為を「作業」と呼んでいます。作業療法士は子どもから高齢者、障害がある人など、日常生活に支援が必要な人に「作業」を通して働きかけ、その人が日常生活の身の回りの動作をとどこおりなくできるようにするだけでなく、趣味・生きがい・社会参加など、その人にとって「意味のある、したい作業」を日々の生活の中で続け、社会とのつながりを「作業」を通じてつくり出していきます。

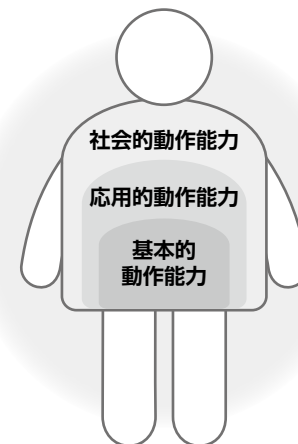
好きな作業を通じて能力を維持・改善する

調理実習も作業療法のひとつ



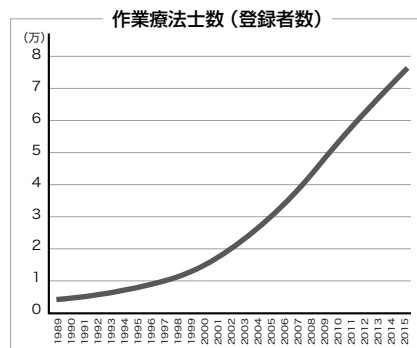
維持・改善する3つの能力

作業療法では、基本的動作能力（運動・感覚・知覚、心肺・精神・認知などの心身機能）、応用的動作能力（食事・トイレ・家事など、日常生活で必要となる活動）、社会的適応能力（地域活動への参加・就労・就学）の3つの能力を維持、改善することで、作業療法を必要とする人が生活を獲得できることを目標にします。



今後、活躍の場所が広がっていく

保健（地域包括支援センターなど）・教育（特別支援学校など）・職業（就労支援事業施設など）・産業（企業など）領域での働きかけや地域共生社会（子どもから高齢者、障害がある人も地域で支え合うという考え方）へ向けて作業療法士の専門性を生かした視点で支援しさまざまな場所で活躍をしています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所社会保障統計年報データベース

心は作業をするって、
元気になるよ。

体だけでなく 心の支援もする作業療法士

人は作業をすることで心身の健康を取り戻すことができる。この考え方に着目することで、作業療法は誕生しました。作業療法士はこの考え方を根幹とし、障害のある方だけでなく、地域で生活するすべての方を対象に、心と体の両面から、作業を通してその人が元気に生活行為を行い、豊かな社会生活を送れるように支援しています。

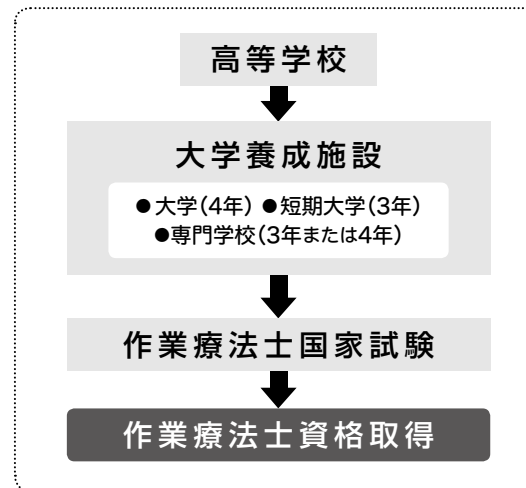
他の医療職との連携が重要になっている

作業療法士の使命は、地域で暮らす人々に対し、さまざまな領域において「作業」を通していきいきと毎日を過ごすことのできる環境づくりをすることです。そのためにも他職種との協働が重要になっています。



作業療法士になるには？

作業療法士は、国家資格です。作業療法士養成課程のある学校養成施設を卒業することで、国家試験の受験資格が得られます。養成施設の課程は、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」に分かれていて、医学的な基礎知識や作業に関する専門知識はもちろんのこと、福祉に関する知識や社会学・心理学の知識などを多岐にわたって修得し1年に1回2月頃に行われる国家試験に合格することで、作業療法士の国家資格を取得することができます。



中学校・高校時代に学ぶとよいこと

中学・高校時代にできるかぎりいろいろな経験・体験を積極的にするとよいでしょう。勉強、読書、クラブ活動、趣味活動、友だちとの遊び、いろいろな世代との交流など、日常生活で見聞きし体験するすべてが作業療法士になったときに生かされます。特に「人に興味がある」「人が生きていることの不思議に興味がある」という人が作業療法士に向いています。

◀◀ 「チーム医療」って何？ 詳しくは次のページへ

チーム医療推進協議会が目指していること

今後、各メディカルスタッフの専門的知識や技術の進歩を土台としながら、各職種が連携して「チーム医療」を実践することで、患者さんが中心の医療を推進する必要があります。そのために次の4つを目指しています。

1 患者中心の医療の推進

患者さんに尊厳をもって接します。患者さんが置かれている状況やその考え方を配慮し、患者さんご家族の意向を反映した医療を提供します。



3 情報共有の推進

常にチームとしての方針を共有するため、カンファレンス等に積極的に参加します。業務を適切に記録・保管管理して、情報の漏えいに最大の注意を払います。



2 高いレベルの専門性の推進

専門職として、高いレベルの知識と技術の習得に努めます。専門的技術の標準化を進め、安全で効果的な業務を行います。



4 チーム医療の推進

他のメディカルスタッフの専門性に敬意を払うと同時に業務にも関心をもち、チームの統合性を目指します。自分の専門性を伸ばすだけでなく、協働意識も育てます。



あなたもメディカルスタッフを目指して、チームの輪に入りませんか!

「チーム医療」って何?

病院では、様々な職種のメディカルスタッフ（医療専門職）が働いています。その人たちが連携して、専門スキルを発揮しながら治療やケアをすることを「チーム医療」と呼びます。

「チーム医療」を推進する チーム医療推進協議会とは?

チーム医療を推進するために平成21年にスタート。
現在では医療関係17職能団体が参加しています。

日本医療
社会福祉協会

日本医療リンパ
ドレナージ協会

日本栄養士会

日本看護協会

日本義肢装具士
協会

日本救急救命士
協会

日本言語聴覚士
協会

日本作業療法士
協会

日本歯科衛生士会

日本視能訓練士
協会

日本診療情報
管理士会

日本診療放射線
技師会

日本精神保健
福祉士協会

日本理学療法士
協会

日本臨床衛生
検査技師会

日本臨床細胞学会
細胞検査士会

日本臨床心理士会

詳しくは各団体のHPをご覧ください